

[様式14]

(対象事業：子どもを対象とした事業及びその開発にかかる事業)

事業名：美術・参加体験型鑑賞プログラムの
開発 ～出張美術館～

事業者名：光記念館

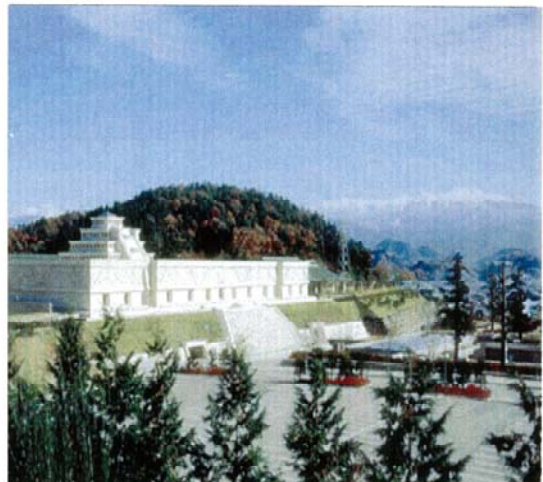
連携事業館名：高山市立中山中学校・高山市立
松倉中学校・高山市立丹生川中
学校・高山市立東山中学校

住所：岐阜県高山市中山町175

TEL：0577-34-6511

FAX：0577-34-6065

HPアドレス：bijutsu@h-am.jp



①施設概要

光記念館は、光をテーマに平成11年4月8日、飛騨高山にオープンした博物館・美術館複合型のミュージアムである。近・現代の日本画・書等を展示する美術展示室、飛騨地方から産出される化石・岩石を中心に、飛騨の歴史と自然史等を紹介する飛騨展示室、マヤ・アンデスを主とした世界諸文化の遺物と日本の縄文時代の出土品等を展示する人類史展示室などから構成されている。

②事業の意図目的

市内の中学生を対象に、本物の美術品に触れる鑑賞教育の機会を提供し、教員と共に教育プログラムの開発を行なう。また、優れた美術品から感動や喜びを体験することで、美術や芸術に強い関心を持ってもらう。

学校と連携する事により、美術館と学校による青少年教育を行なう。それは、芸術・文化を支える市民を育てあげ、芸術・文化に理解ある市民の育成に繋がる。そして美術館が地域に開かれて、人々が集い人々に親しまれる魅力溢れるミュージアムが構築できるのである。つまりこの事業の最終目的は、次代の文化・芸術を担う人材育成、人材養成であり、日本の文化芸術立国を目指し、かつ文化力は国の力であるという事を市民全体に認識してもらう事にある。

③事業概要

日本の文化は約2千年に及ぶ伝統を持つ。これは世界にも例のないものである。ところが、外国の異文化に接して初めて日本文化の素晴らしさに気付く日本人も多い。過去に行なった出張美術館で、美術教員から「単なる鑑賞ではなく、顔料や材料、用具などの説明もあると子供たちに興味を持たせ易い。また、浮世絵全般や絵師の話ばかりではなく、ヴィトンのバックのデザインに日本の手裏剣が使われていることなど、江戸時代のファッションや現代にも続いている模様など、身近な話題にも触れて欲しい」とのお話も頂いた。こうした要望に応えるため、本年度はこれまで出張美術館を継続的に行ってきた中山中学校・松倉中学校・丹生川中学校・東山中学校の美術教員と詳細な打ち合わせと連携を図り、参加体験型鑑賞プログラムを開発し実施してきた。

④事業の製作物及び報告書等

作成した報告書等： テキスト（お江戸のファッションの冊子）
平成19年度報告書（冊子）

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 459 人
内 訳：東山中学校116名・中山中学校145名・丹生川中学校46名
松倉中学校152

(1) 事業の実施状況について

実 施 時 期	計 画 事 項
平成19年7月上旬	各中学校との打ち合せ(第1回)
9月末	配布用テキスト作成
9/4・9/18	東山中学校打ち合わせ
9/21	丹生川中学校打ち合わせ
10/16	丹生川中学校実施
10/19	東山中学校実施
10/22・11/13	中山中学校打ち合わせ
11/9	松倉中学校打ち合わせ
11/19	中山中学校実施
11/27	松倉中学校実施
平成20年3月末日	報告書作成実施



(2) 地域との連携について

市内の中学生を対象に、本物の美術品に触れる鑑賞教育の機会を提供し、美術教員と連携を取り、教育プログラムの開発を行なった。

生徒からは「浮世絵が面白いと思った」、「浮世絵についてもっと勉強したい」などの感想が寄せられ、教員からは「来年度もぜひ実施して欲しい」、「顔料や膠などを直に見ることが出来て大変興味深かった」、「浮世絵以外のジャンルでも計画して欲しい」などの感想を頂いている。

美術館と学校が連携することで、より質の高い授業を行うことができた。

(3) 成果物について

- テキスト（お江戸のファッションの冊子） 600冊
- 平成19年度報告書（冊子） 300冊

(4) 参加者の反応

- 今日の授業で日本の文化に興味をもつことができたし、浮世絵の細かさなどを実感することができて良かったです。
- 時代ごとに着物のきかたがかわってきている事がわかった。本物の金箔を見れて良かった。
- 浮世絵は髪の毛一本一本ていねいにかいてあって本当にびっくりしました。技術もすごいし材料もすごいと思います。
- 今日の中でいちばんびっくりしたのは絵の具で、岩からも色ができるのかあとと思いました。
- 今まであまり知ることができなかった浮世絵のことを本物を見ながら学べてとても良かったです。前よりも浮世絵のおもしろさ、奥の深さを感じて知ることができて良かったです。
- 浮世絵によって服装や小物など、ファッションを伝えていると思うと描くのがたいへんだなと思いました。
- 最初はまったくわからなかったし、興味もあまりなかったけど、勉強してみるといろいろ楽しくなってきたのでもっと勉強してみたいと思いました。

※ 生徒のアンケートより抜粋

(6) 新聞記事等

また、特筆すべきことのひとつとして、初めてハンズオンとして取り入れた体験学習「日本画の画材を直接触れる」という点である。始めて見る日本画の画材（天然絵の具・膠・金箔など）を前に生徒たちは、楽しそうに学び、日本の伝統技術の高さに驚いていた。直に見て、触れて、学校の授業だけでは学べない内容を実施できたことは、将来の職業を選択する時期にある生徒にとって貴重な体験となったと推測できる。

岐阜新聞 平成19年10月17日 朝刊

